



市民が主人公

(無所属市民派 議会・総選挙報告等)

発行：日野・市民自治の町をめざす会

〒191-00062 日野市多摩平5-3-7第3モリヤコーポ103

電話：070-6965-1435

e-mail: se.aruga@gmail.com

HP : <https://aruga-hino.wixsite.com/aruga/>



あるが精一
日野市議

9月議会一般質問

あるが議員一般質問の動画は右QRコードをクリック



1. 河内元副市長等の助成金詐欺事件などの第三者委員会(評価委員会)調査について問う

【質問概要と市長等答弁・評価】ヒアリング録は解明に不可欠な資料である。この資料の存在を認めるか否か、評価委員会に提出するか否か、議会にも公開されるのか否か、市長からきちんとした約束をとるため。対する答弁は、当該職場のヒアリング録はある。評価委員会にも提出する予定。評価委員が再調査を求めればそれにも応ずる。ヒアリング録は議会にも資料として報告書と共に基本的には提出すると回答。市長の言質をとったが今後実行するかチェックが必要。

2. 一連の市政腐敗問題と現市政について大坪市長の認識を問う

【質問概要と市長等答弁・評価】元副市長問題に関連する市民訴訟は約4億円返還を実現した。現在3件の市民訴訟が継続しているが、市立病院関連で河内氏との和解がされており、市側は問題が終わったかのような立場表明を裁判の準備書面で行っている。市側責任を曖昧にさせないため、加えて兵庫県知事問題、鹿児島県警問題を引き合いに内部通報制度の実態・職場環境改善を問うため。対する答弁は、「終わっていない。未解明であり今後も解明に向けて取り組む」と回答。内部通報制度は正しく運用されている。職場の環境をよくするために努力すると答弁。終わっていないとの認識確認をさせた。内部通報制度の運用や職場環境については多分に主観的な評価。今後もこの問題を取り上げていく予定。

3. 三井不動産データセンター建設日野市はどう向き合うか(裏面)

4. 保険証廃止に日野市はどう対応するか

【質問概要と市長等答弁・評価】12月2日、紙の健康保険証の発行が停止される。停止以降も紙の保険証は使え、期限切れでも資格確認証が発行され、心配はならないことを確認する。並びにマイナ保険証利用率の市立病院の実態を明らかにし、自治体として今後の方針を問う。対する答弁は、2月2日以降も、資格確認証が発行されマイナ保険証がなくても問題ないこと。市立病院のマイナ保険証利用率は約6%ほど、利用率に問題があることは認識していると答弁。マイナ保険証利用をしなくてもこのままでよいことを確認し。今後自治体としての独自方針を問う予定。

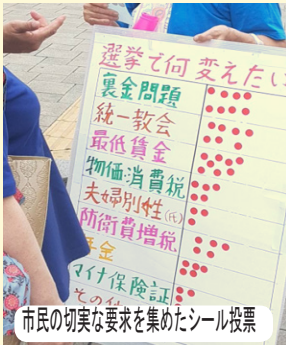
◇◇◇◇◇
【2023年度決算】 議会としてはすべて認定となりましたが、一般会計、特別会計の国民健康保険、土地区画整理は不認定としました。いずれも2023年度予算について反対しています。一般会計は、事実と反する「財政非常事態宣言」一刻も早く止めるべき。国民健康保険は値上げ執行の予算であったため。区画整理は見直しが必要であるため。市も9月議会で補正予算を計上し、区画整理について専門家による見直しを始めることに。これは有賀の主張してきたこと。



総選挙

大河原まさこさん当選! 自民裏金政治に審判下る!

10月27日投開票総選挙 東京21区は市民と野党の共同候補 大河原まさこ氏(立憲民主党)が小田原きよし氏に2万票の大差で小選挙区初当選を果たしました。自民党の裏金政治(大企業・富裕層が金で政治を買う)や旧統一教会との癒着が厳しく批判された選挙結果でした。私たち日野・市民自治の町をめざす会も大河原氏を応援。シール投票を通じ市民と対話し、腐敗した自民党政治を変えようと訴えました。



市民の切実な要求を集めたシール投票

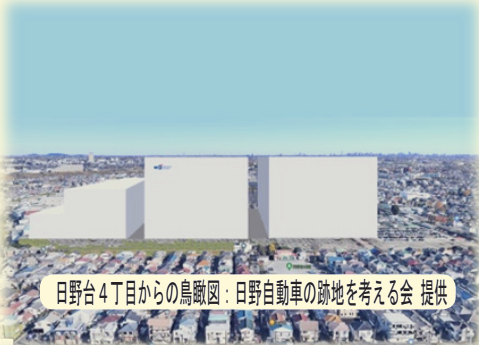


当選報告会、大河原さんと日野市民の皆さん(立川選挙事務所にて)



多摩平6丁目 スーパーさえき前にて宣伝

まちづくり条例は市民の生活と環境を守るためのもの 大坪市長は三井不動産に条例に従った指導を!



日野台4丁目からの鳥瞰図: 日野自動車の跡地を考える会 提供

日野自動車跡地に三井不動産が進めようとしているデータセンター(以下DC)建設に批判の声が高まっています。9月議会一般質問であるが議員も「今回のDC建設計画はまちづくり条例の理念が活かされていない。市は市民の生活と環境を守るため三井不動産を指導すべきだ」と訴えました。

この問題を巡り住民組織の立ち上げも進められようとしています。市政においても重要課題となりつつあります。

声を上げれば政治は変わる 都知事選を経て市民要求が実現へ

都知事選挙で、三多摩格差の解消を訴えてきました。学校給食無償化と多摩モノレールへのシルバーバス適用はその象徴。9月、東京都は、多摩地域の自治体に小中学校給食費の7/8補助を来年1月から行うと発表。多摩都市モノレールへのシルバーバス適用も小池知事は公約に掲げており、近い将来実施の可能性も高まっています。声を上げれば要求は実現できます。

小中学校給食無償化 都の発表後、市は負担が1/8になったことから来年1月から無償化実施を発表。校内調理や農業生産者と連携した日野産野菜により日本一おいしいと評判の学校給食を今後も維持していくべきと考えています。



多摩モノレールへのシルバーバス

日野市は多摩都市モノレールの駅が5駅あります。料金が高いとの声もある中、シルバーバスが使えるようになれば、高齢者にとって朗報です。バス路線の維持も含め、公共交通を市民が利用できる環境をしっかりと支えていく市政が求められます。